

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名		市民農園維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	産業振興部	課長名	可徳 精至
	施策	11	農業の振興			所属課	農政課	担当者名	橋本 育将
	基本事業	32	関係機関の連携の強化			所属班	農業振興班	(内線)	1167
予算科目		会計一般	款6	項1	目10	事業連番10275	法令根拠	市民農園法 合志市市民農園条例	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	農園づくりの体験を通じた農業への理解と親しみを市民に普及させるため、農園を貸し出し、使用料を徴収し、農園の維持管理を行う地産地消や安全・安心が叫ばれる中、自ら農園で作物を栽培し、農業への理解を深めてもらおうと、平成13年度に市民農園法に基づき農園を整備し翌年度より利用者を募集し貸し出ししている。21年度に区画開放を行い104区画となり、更に23年度には20区画を増設し、更に御代志に新規農園21区画を開放する予定である。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	募集、契約、貸し出し、使用料(調定、納付書発送、納付確認)、施設の維持管理
【主な予算費目】	賃金、需用費、役員費、使用料及び賃借料
【意見や要望】	水道蛇口の増設や堆肥の常設など、農業体験を充実させるための要望がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	事務事業の概要と同じ	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 区画	予算の主な増減の理由
→ ア 利用区画	イ	御代志農園開設に伴う管理経費等の増。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 人
		→ ア 借受者+申込者
		イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	市が管理する農園で農作物の栽培が出来る。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) 倍
		→ ア 空き区画に対する申込者の割合
		イ (申込者数÷募集区画数)
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠		
市が準備した農業体験施設を市民に十分に活用してもらう必要があるため。		

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア 区画		99	104	104	104	145	145	145
	イ								
② 対象指標	ア 人		118	145	115	133	145	145	145
	イ								
③ 成果指標	ア 倍		3.71	5	3	8.25	3	3	3
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	429	434	457	452	572	572
		繰入金	千円						
	一般財源	(A) 事業費計	千円	429	577	582	3,391	849	849
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	0	2	6	2	2
		延べ業務時間	時間	220	0	220	600	220	220
(B) 人件費計	千円	880	0	875	2,472	906	906		
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,309	577	1,457	5,863	1,755	1,755		

総トータルコスト
全体計画
～
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	市民農園維持管理事業	所属部	産業振興部	所属課	農政課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE) ※原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 市民からの要望を踏まえ平成23年度に福原農園の増設及び御代志農園の新設を行ったが、福原農園については増設分もすぐに借り手が見つかったが、御代志農園においては新規に開設したため、なかなか周知が浸透していないように思える。引き続き広報及びHPなどを活用して周知を続けていく。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 市民が農業に対して興味や理解を深めるものがなくなることに、農業への関心が希薄になる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 コスト削減は事業効果の減少につながる。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業効果の減少につながる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 利用については、5年ごとの切り替えを行っており、解約が出た場合は全市民に周知を行い、抽選により利用者を決定している。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 他所の市民農園や家庭菜園に比べ、本市の市民農園は格安で貸し出している。民間が当事業を行うと利益を追求しなければならないため、農園利用者にとってはマイナスになると考える。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成22年度までは空き区画の利用者募集に対し30倍程度の応募が殺到していた。平成23年度において区画増設及び新規農園の開園を行っているため、より多くの市民に利用してもらえると考えます。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) 平成23年度において増設区画及び新規開設区画の貸し出しを始める。そのため農地貸借に係る費用は増すが、農園利用者も増えることになる。以後は農園指導員と協力して利用者の効用を高める。	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上			○																	
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 福原農園開設時もそうだったが、農園の新規開設に係る周知を徹底するのに時間が掛かる。そのため、利用者募集の機会を増やし、御代志農園についての周知を計る。																					